



4月2日丸山浩一新市長に予算要望書を届けました

てはめ、組みを当組みを當てはめ、閣制の枠閣制の枠の議院内も、国会方議会でです。地元代表制議会は二議会とは違  
い、地方

声に耳を傾け、お互いの信頼関係を構築し、職員が働きやすい環境づくりを目指していくたい」と述べられていることから、議会に対してはどのように向き合われるのか聞きました。

市長の答弁は「地方自治は二元代表制で成り立っている。当然のことながら市議会との関係においても、緊張感と信頼関係をもつて臨みたい」でした。

議院内閣制を採用している国

新市長の所信表明に対し  
代表質問を行いました

2月3日の選挙で丸山浩一氏  
が当選し、18日に就任しました。今議会では、新市長の所信表明  
に対し、各会派が代表質問を行  
いました（会派を組んでいない  
議員は一般質問）。

市長は所信表明冒頭で、大学  
時代から親しんでいるラグビー  
で使われる「ONE FOR  
ALL」、「ALL FOR ONE」  
（一人は、みんなのために、みん  
なは、一人のために）や試合終了  
と同時に敵味方のへだてなく、  
お互いの健闘を讃え合う「ノーサ  
イドの精神」を引用し、「市政運営  
に当たつて、職員の士気と意欲を  
高め、市役所を活気ある組織とす  
ることは、とても重要なこと。毎  
日、市民の皆様へ献身的なサー  
ビスを提供している職員とコ

新市長の所信表明に対し  
代表質問を行いました

首長を支持する会派を与党、そうでない会派を野党と言う方がいりますが、本来、二元代表制である地方議会においては、制度的にはこのような与野党関係が発生す

る仕組みとはなっていません。  
市長が行う施策・事業に対し、  
様々な観点でチェックし、政策

提案するのが議会の役割。選挙の際に政策の方向を同じくする候補者を支援したとしても、選挙が終われば、市長率いる行政に議会総体で向かい合うことが本来の役割です。とは言え、支援を受けた会派とそうでない会派の議員と分け隔てなく対峙するには市長自身に強い意志が必要です。在任中、これを実践した元

安孫子市長の  
福嶋浩彦氏の  
スタンスは、生  
活者ネットが  
考える市長像  
の一つです。

臨時議会（2月26日）での市長の発言に「与党・野党うんぬんに関しては基本的にには与党という言葉を使わせていただいていますが」というものがありましたが、市長には二元代表制のもと、「ノーサイドの精神」で向かい合つてもらいたいものです。

他にも、所信表明に沿つて子育ち子育て支援、放射能汚染対策、都市農業支援、協働のまちづくり、行財政改革、暫定予算について等多岐にわたつて質問しました。

質疑の概要は生活者ネットのホームページまたは、5月15日発行予定の市議会だより第56号をご覧ください。

今まで市内になかった就労移行支援事業所が、4月に開設されました。就労移行支援事業所は、障がい者の就労の予備校ともいわれ、本格就労の前の訓練の場として、多くの障がい者が利用する重要な事業所です。今まででは、近隣自治体に通うしか選択肢がなく、障がいを持つ人にとっては経済的にも身体的にも負担が大きかつたと思います。今回、第1号

## 就労移行支援事業所 第1号オープン!!

# 2013年3月 議会報告

石田ひろこ 大友かく子

- 就労移行支援  
就労を希望し、一般企業等に雇用されることが可能と見込まれる方に対し、生産活動、職場体験の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、求職活動に関する相談等を行うもの。
- 就労継続支援（A型、B型）  
一般企業等に雇用されることが困難な方に対し、生産活動の機会の提供、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行うもの（雇用契約に基づく場合はA型、雇用契約を交わさない場合はB型）

答弁がありました。

障害者優先調達推進法の取り組みがすすむことで、今年4月に開設された「就労移行支援事業所」や、「就労継続支援B型事業所」の安定的な事業展開がすすみ、市内にまだない「就労継続支援A型」の開設にもつながっていくと考えます。障がい者の就労の場を充実させ、新たな広がりの一助となるよう、障害者優先調達推進法に対し積極的に取り組むことを強く要望しました。

が、さくらの園でオープンしまして、  
たが、更に市内で事業所が広がる  
ように、今後も行政の支援を求めて  
ていきます。

## 子どもの権利条約の理念 生かす施策の推進を!!

児童相談センター所長を勤めた経験がある市長に、子どもの権利の主体者であることが根本の、子どもの権利条約についての考え方を質問しました。答弁は、「国際条約である児童の権利に関する条約の理念を念頭に置とともに、所信表明で述べた策を着実に実行することにより、子どもの人権の擁護・保護図つてまいりたい」とのことでした。生活者ネットの代表質のなかで市長は、子どもの権利条約の理念が盛り込まれた「どもの権利ノート」(施設に入する子に配布しているもの)をども参加で作られた経験があことも明らかになりました。子どもの権利条約の理念を念頭にく市長のもと、子どもの権利条約を広く普及啓発することを強く求めました。

石田ひろ一

# トピックス

### 〈暫定予算 可決〉

市長の交代で、3ヶ月間の暫定予算が提案された。市の事務量の増加、委託事業者の経費の負担増なども含め市民生活への影響は大きい。骨格予算を提案すべきだったことを指摘しつつ生活者ネットも賛成した。

#### 〈子宮頸がんワクチン〉

今年度から国が定期接種に位置づけた。対象も小6～高1年生へ拡大。しかし、被害者の会が発足するなど、課題の多いワクチンであることも事実。現状では、市内での副反応の報告はないとのことだが、

## ＜みんな！ 寅婦控除の適用を求める意見書を提出＞

寡婦控除は、子どもを抱える戦争未亡人の救済のため導入された制度で、制度改正を繰り返し父子家庭も対象となつたが、あくまで婚姻歴があることが前提条件。非婚の母子家庭には適用されない。制度上の不公平を解消し、どんな家庭に生まれた子どもも平等に受け入れる社会であることを願い、意見書を提出し、自民党は反対したが賛成多数で採択。



2月9日大河原雅子参議院議員を囲んで国政フォーラム。

#### 生活者ネットワークのルール

- 選挙はカンパとボランティアで行ないます。
  - 議員は最長3期でローテーション。議員を職業化せず、誰もが議員になることで特権化しません。
  - 議員報酬は市民の活動資金として使い、お金の流れは公開します。